

9月本会議で二回目の質問

9月17日 福岡市議会議場にて公明党を代表し一般質問を致しました。2点のテーマを取り上げ行政当局からも前向きな回答を得ることが出来ました。

福岡市におけるアレルギー対策について現状を質す

現在のアレルギー症状の現状を調べると・・・

- ・アトピー性皮膚炎
- ・アトピー性皮膚炎に對する専門相談員が、東保健福祉センターしかないが各区に配置できないか。
- ・ぜん息

学校保険調査で患者が10年前の児童の2倍にふえた。全国で年間4千人が死亡している。

・20代前半の世代では9割近くが既に発症か、その予備軍となっている。

今や国民病とまでいわれるアレルギー対策が、急務であるため平成13年に引き続き会派として一般質問をしました。

問1 市内での医療体制はどうなっているか、関係機関のネットワークが出来ているか。



9月17日本会議場にて撮影

問3 学校での検診でアレルギー

地域的な偏りがあり、西部地区での開設などを検討していく。

答 今小児科や皮膚科そして保健福祉センターとの連携が出来ていない。指摘されたとおり関係機関とのネットワーク作りを進めていく。

問2 アトピー性皮膚炎に對する専門相談員が、東保健福祉センターしかないが各区に配置できないか。

答 地域的な偏りがあり、西部地区での開設などを検討していく。

アレルギーに関する項目があるか、また保健福祉センターとの連携は、食物アレルギーを持つ児童数は何人か。教諭に対する啓発はどうしているか。またアトピー児童への配慮はどうしているか。

答 定期健康診断でぜん息・アトピー・結膜炎について把握しているが、これまで校医と保健センターなど連携を取っていないので検討していく。食物アレルギーを持つ児童は、全市で1539人。おかずに使用

する食材の原材料を献立表と別に配布している。教職員に対しては、手引書等を配布しているが、アレルギーに對する理解が深まるよう専門医等による研修会の開催を検討する。アトピー児童にはシャワー室が使えるようにする。

問4 シックススクール症候群の報告が上がっているか。

答 平成14年に調査した。現在では症例の報告がない。

意見 対策がようやく始まったとの印象だ。平成13年に

東区に限り実態調査を行なっているが、それで“良し”とするのではなく更に調査に裏づけされた原因究明と治療方法を確立するよう要望する。

土地区画整理事業について問題を指摘

答 菅崎JR連続立体工事の騒音とのぞかれるプライバシーについて対策を問う。

問 明年春にJR上下線が開通して騒音調査を実施する。その後、本格的な対応を検討する。今は他都市の事例を調査し対策できる内容を検討している。

香椎副都心土地区画整理事業において45mマンション建設の是非について。

答 事業者にも働きかけて、地区外住民の方々の意見も反映させていく。建築局内に「まちなみのルール作り支援センター」を新設した。今後のマンション建設問題に対処していく。

意見 コミュニティーの自立化のために関係者による区画整理審議会を設置し、住民参加型を発展させていくべきだ。

山口つよし 活動アラカルト

博多港地方港湾審議会に
出席

6月17日 国際会議場にお
いて第一回審議会が開催され
ました。席上山口が審議会副
会長に任命されました。



今回の内容は、アイランドシ

ティに港湾設備を設置し、い
よいよ供用開始が迫ってきて
いる現状が報告され、今後の
あり方について審議しました。
西日本都市漁業対策協議
会に出席



7月30日 北九州市のホテ
ルにて協議会が開催され、福
岡市を代表して山口他1名が
出席しました。水産資源の確
保と近隣諸国との漁業協定に
ついて、国に要望していくこ
とが決定いたしました。

東区内で地域調査を実施

7月6日と7月13日の2日
間で地域調査を党員の方々と
ともに、実施いたしました。
・公園やカーブミラー設置の
要望・道路、歩道の改良等調



査し、要望書を区役所に提出
しました。10月中旬ころに
第一回回答が来る予定です。
暑い中一緒に調査いただいた
党員の方に感謝申し上げます。



7・19豪雨災害に対し市
長に緊急対策を申し入れ
さる7月19日未明に集中豪
雨により東区の綿打川や博多
区の御笠川が氾濫し、多大な

被害が出ました。被災された
皆様に心よりお見舞い申し上
げます。



4年後再び起きた災害に対し、
今後の対策を市長に公明党市
議団として申し入れしました。

立花寺農園が開園

9月1日 博多区立花寺の開
園式に際し、福岡市議団を代
表して記念植樹をしました。

